



## 「夢なき者に成功なし。 新たな技術に挑戦する」を モットーに、高品質の製品を提供。

創業110余年という歴史を誇る株式会社前田精密製作所。航空宇宙関連、ロボット、医療分野などの小型歯車と精密機器部品製造を手がけ、近年は研究開発支援にも力を入れています。就任4年目を迎えた4代目、前田正社長に取り組みや抱負について伺いました。

### 株式会社 前田精密製作所

代表取締役社長 前田 正

#### 多品種少量の オーダーメイドにも対応

当社は明治34(1901)年、時計の修理や改造を行う工場から一歩を踏み出しました。大正時代から小型歯車、部品を手がけるようになり、昭和の高度経済成長期の頃から、3代目の親父が「当社にしかできないことを」と、歯車関連製品を作るための機械を導入するなど設備を次々に充実させ、精密機器関連部品生産を増やし、高い技術力を育ててきました。

今は、主に航空機、医療機器、衛星通信機器など、高い精度が要求される製品の部品加工を手がけています。小型歯車では、歯形の大きさを表すモジュールが2以下の小型精密歯車に特化し、計測装置用歯車を製造しており、設計・部品加工・組立調整までの一貫生産も行っています。生産量の8割が精密機器部品、2割が小型歯車です。

精密機器部品生産用、小型歯車生産用ともに多種多様な設備を揃えており、それぞれの特徴、構造を活かし、組み合わせを最適化させて生産しています。この多種多様な設備とそれぞれで培った技術力を相互に活かすことで、ユーザーニーズに合わせた多品種少量のオーダーメイドにも対応できることが強みの一つでもあります。

高品質な製品提供は基本的なことで、2005年にはISO9001の認証を取得。さらに来年春、航空・宇宙・防衛マネジメントシステムJISQ9100の認証取得を目指しています。

#### 研究開発支援も積極的に取り組む

こうした蓄積された土壌の中で、少しでも技術や製品の開発、発展に貢献したいという思いから、近年取り組んでいるのが、大学や企業など研究機関への研究開発支援です。

昭和の終わり頃にロボット専門のある大学の先生と知り合ったことがきっかけで、ロボットに強く魅せられ

たんです。もともと、精密機器部品ができる、歯車ができるというロボット部品製作ができる環境が整っていたわけですから、ごく自然にロボット分野も手がけるようになりました。

部品製作だけでなく、組み立てまで、さらに最近では、開発コンセプトを構築する段階から協力支援させていただくことも増えており、その範囲と可能性が広がっています。

たとえば、近畿高エネルギー加工技術研究所ロボット研究会に参画し「ユニバーサルロボットハンド」の開発に携わったり、神戸RT(ロボットテクノロジー)製品共同開発事業において、パナソニック株式会社などと「ヘッドケアロボット用新規アーム部」の試作機を共同開発しました。ここには兵庫県立大学の伊勢助教の設計で当社が製作した「気体軸受」も使っています。

今年度は、神戸市の「神戸挑戦企業等支援補助制度」に採択されて補助金をいただき、広島工業大学の今村教授設計による「摩擦減速機」「超小型摩擦減速機」など、医療、農業分野での減速機の開発と商品化などにも取り組んでいます。

#### 技術力アップと新たな開発に挑む

お客様の要望は多様化しています。柔軟に対応できるよう、全社員でさらなる技術力アップを目指していきたいと考えています。そんな思いを、昨年8月に理念として「技術の向上と新たな開発に挑戦」と掲げました。同じく「環境にやさしく」とも掲げ、社員一人一人に常に環境を意識してほしいと思っています。2007年には「KEMS(神戸環境マネジメントシステム)ステップ1」を取得しています。

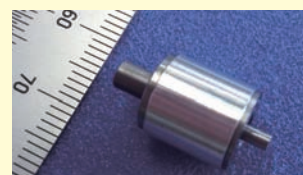
吉田松陰の言葉を少しアレンジして「夢なき者に成功なし。新たな技術に挑戦する」をモットーに、全社員の技術力を高め高品質な製品を提供しながら、研究開発支援も積極的にチャレンジしていきます。



ユニバーサルハンド



ヘッドケアロボット



超小型減速機

#### 企業DATA

株式会社前田精密製作所

所在地 神戸市中央区楠町2丁目1番7号  
TEL 078-351-2424  
FAX 078-361-1290

創業 1901年

社員数 58人

主力商品 情報通信関連部品・医療関連部品・航空機関連部品・衛星通信関連部品・精密小型歯車・小型減速機組立・油圧関連精密部品・精密機構部品組立・映像関連部品

企業理念 顧客並びに社会に受け入れられる企業を目指します。常に技術の向上と、新たな開発に挑戦し、法令を遵守し、環境にやさしく、且つ社会に貢献出来ることを心掛けます。